

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-5 交通安全対策の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 道路建設課長 井田 悦男 電話番号 0852-22-6456

事務事業の名称	安全な歩行・走行のための道路整備事業（第一種＝道路本体改良）	
目的	(1) 対象	道路利用者
	(2) 意図	より安全で快適に道路を歩行・走行できるようにする
事業概要	道路利用者が安全かつ快適に通行できるよう、整備計画路線に対して交付金、県単による交通安全施設等整備事業を活用して歩道整備、交差点改良、登坂車線整備を行う。 歩道整備必要全体延長 L=1, 340 km	

2. 成果参考指標

(1) 指標名	歩道整備率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		82.00	83.00	85.00	
式・定義	(整備延長/全体必要延長) (累計)	実績値	80.00	82.00	83.00	84.00		%
		達成率		100.00	100.00	98.90		%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00		
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	4,189,435	4,013,413
うち一般財源(千円)	309,887	181,127

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・H22歩行環境整備計画（歩道優先整備区間：1, 340 km）に基づいて整備中であり、H24年度からは通学路緊急合同点検における要対策箇所49箇所について平成30年度完了を目標に重点整備を行っている。
 ・平成26年度は達成目標を1ポイント下回ったが、通学路緊急合同点検に継続する通学路交通安全プログラムを県内全19市町村で策定したため、これに基づき重点的に整備促進している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・平成26年度は、下記4工区が完成し、部分供用が図られた工区と合わせた歩道整備延長はL=19 kmであり、着実に安全な歩行空間の確保ができた。
 【完成工区】
 1. 出雲インター線 大島工区
 2. 川本波多線 川下工区
 3. 川本波多線 川本工区
 4. 甲田作木線 下口羽工区

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・通学路以外の歩道整備箇所等において、国の補助が重点化されていないことから予算確保が困難な状況となっている。
 ・平成24年度実施の通学路の緊急合同点検箇所の残工区は延長の長い歩道整備が必要となっており、大きな事業費が必要となる。

②困っている状況が発生している「原因」

・財源となる国の交付金については、個別の事業毎の配分ではなく、大きな枠毎での配分となっており、特別な需要に応じた要求が反映されにくい状況となっていることに加え、近年、既存施設の老朽化対策や通学路の安全対策の分野に厚く配分され、通学路以外の歩道整備や交差点改良などへの配分は低く抑えられる状況となっている。

③原因を解消するための「課題」

・地域の実情に応じた国費の配分。
 ・限られた予算を有効かつ効率的に活用するため、地域のニーズに応じた多様な手法（例：歩車共存道など）による整備の検討が必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・国に対し地域の実情に応じて予算が配分されるよう丁寧に状況を説明するとともに、国の予算配分方針等を的確に把握し、工夫しながら、必要な予算が配分されるよう要望していく。
 ・地元や警察署など関係機関と協議しながら、地域のニーズに応じた整備を促進する。
 ・通学路の歩道整備については、平成26年度に県内全19市町村で策定した通学路交通安全プログラムにより重点化要望を行い予算確保を図る。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）